

# ユニセフ “定期”募金 はじまりました！

## ユーコープの「ユニセフ定期募金」とは？

毎週同じ金額\*を継続的にご寄付いただく仕組みです。  
本プログラムは支援に参加される期間を設定しておりません。  
登録停止の手続きをいただくまで継続されます。  
\*募金額（口数）は任意です。



©UNICEF/UN041141/Vittozzi

## 毎週のご支援でできる一例



©UNICEF/UN1191930/Asselin

例えば、2口（200円）で  
毎週 **栄養治療食5袋** を支援



©UNICEF/UN0207945/DEJONGH

例えば、5口（500円）で  
毎週 **予防接種14回分** を支援

## 「ユニセフ定期募金」の募金方法は？



### 【お預かり方法】

注文書・eふれんず<インターネット注文サイト>からお申し込みいただけます。

### 【募金申込注文コード】

募金額	注文コード
1口 100円	4195

※一度ご記入いただくと、毎週募金ができます。

登録は注文コード・数量を記入してください

注文コード				数量	注文コ
4	1	9	5	1	

※登録いただくと次回以降、お届け明細書で登録内容を確認できるよう、注文書の右上「おまかせ定期便 確認（変更）欄」に印字されます。（裏面Q&A参照）  
※お預かりした募金は税額控除の対象とはなりません。  
また、領収書の発行を承ることはできませんので、あらかじめご了承ください。

ユーコープの「生活協同組合の助け合いの精神」「飢餓や貧困に直面する世界中の子どもたちの支援」という考え方が、ユニセフの活動と一致していることから、ユーコープでは社会貢献活動の一環として、ユニセフ支援活動に継続的に取り組み、ユニセフへの理解や関心を広げています。

## 募金の登録や変更は簡単！「注文書に記入するだけ」です。

登録いただくと次回以降、注文書の右上「おまかせ定期便 確認（変更）欄」に印字されますので、変更・停止をする場合は、変更数量欄・継続変更欄に記入してください。

\* eふれんず<インターネット注文サイト>でも、同じように登録や内容の変更ができます。

### Q1. ユニセフ定期募金の口数を変更するには？

- A. 注文書の変更数量欄に「変更したい口数」と継続変更欄に「×」を記入してください。

下記は2口200円を、1口100円に変更する例。  
1口100円の登録に変更されます。

5月5週お届け予定は以下のとおりです。				
登録商品	登録数量	変更数量	継続変更	
ユニセフ定期募金（一般）	2	1	×	

### Q2. 来週だけ、ユニセフ定期募金の口数を変更するには？

- A. 注文書の変更数量欄に「来週だけ必要な口数」を記入してください。

下記は2口200円を、来週だけ1口100円に変更する例。1回限りで、元の登録に戻ります。

5月5週お届け予定は以下のとおりです。				
登録商品	登録数量	変更数量	継続変更	
ユニセフ定期募金（一般）	2	1		

### Q3. ユニセフ定期募金を停止するには？

- A. 注文書の変更数量欄に「0」と継続変更欄に「×」を記入してください。

下記は2口200円の登録を停止する例。定期募金の登録は解除され、この週から募金の引き落としはなくなります。

5月5週お届け予定は以下のとおりです。				
登録商品	登録数量	変更数量	継続変更	
ユニセフ定期募金（一般）	2	0	×	

【注意事項】ユニセフ定期募金は募金（カンパ）です。

- ご利用ポイント付与の対象とはなりません。
- おまかせ定期便の登録利用点数の対象とはなりません。

#### 募金の使途について

「ユニセフ定期募金」を通じてお寄せいただく寄付は一般募金として、5歳未満児の死亡率、国民一人あたりの所得、子どもの人口などを基準に、各国の現地事務所に分配され、保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護の活動などに充てられています。困難な状況に直面していても、ニュースではなかなか取り上げられない国々の子どもたちの未来を築くため、包括的な活動に生かされています。

## 特典

「ユニセフ定期募金」に登録いただくと・・・

定期的に“ユニセフの支援活動レポート”をお届けします！（年4回予定）

### ◆レポート◆ 紛争下のナイジェリアで子どもの栄養不良が拡大

#### 死の淵をさまよう赤ちゃん

重度の栄養不良で栄養センターに運び込まれたウマラちゃん。やせ細った腕の太さは9cm、体重はわずか4.2kg。同じ生後7か月の乳児の平均体重の半分でした。下痢も続いて日に日に衰弱が進む、危険な状態でした。

#### 1日3袋の栄養治療食で、生きる力を取り戻しました

3週間ほどの治療を受けると回復の兆しが見え始めました。それまでうつろな瞳で母親にもたれかかっていただけのウマラちゃんが、頭をもたげてスタッフの動きを目で追いかけて始めたのです。まだ慎重に治療と検査を必要としていましたが、死の危険から脱したことは明らかでした。



© UNICEF/UN041142/Vittorzi

ユニセフへの継続的なご協力が、ウマラちゃんのような子どもたちの命を栄養不良から守り、成長を支えます。